

有害ごみ（使用済電池等）の分別にご協力をお願いします

有害ごみと他のごみを混ぜて出すと、発火の原因となります。

使用済の電池は、**充電式電池も必ず分別していただき、ごみステーション内の専用容器に入れてください。** ボタン電池も発火の恐れがありますので、必ず両面にセロハンテープを貼るなどして絶縁し、乾電池と同じ専用容器に入れてください。使用済蛍光灯、電球、体温計（水銀）、乾電池、充電式電池、ボタン電池については、随時ごみステーション内専用容器または清美苑への直接搬入で無料回収を行っております。

ごみ出しの方法は、「ごみ分別ガイドブック」や「ごみ収集年間カレンダー」に記載しております。ごみ出しの際には、ルールを守って行っていただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、役場 環境整備課（☎ 08514-6-1748）までお問い合わせください。



▲ 発火した充電式電池



ごみ分別
ガイドブック



令和6年度
ごみ収集
年間カレンダー

電池類は、
ごみステーション内の専用容器に
入れてください！



お問い合わせ先：ごみ焼却場 清美苑（電話：08514 - 6 - 1338）
西ノ島町役場 環境整備課（電話：08514 - 6 - 1748）



12月4日～10日は、第76回人権週間です



法務省及び全国人権擁護委員連合会は、世界人権宣言が採択された昭和23年（1948年）12月10日の「人権デー」を記念して、翌年の12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を展開して人権尊重思想の普及高揚に努めています。

人権週間は、全国各地で啓発活動を行うとともに、特設人権相談所を開設します。（特設人権相談所については、お近くの法務局へお問い合わせください。）

職場や学校でのいじめや嫌がらせ、家族間での悩みごと、インターネット上の人権侵害など、毎日の生活の中で人権問題であると感じたことや、悩みごと、困りごとをお持ちの方は、一人で悩まずご相談ください。

お持ちのパソコンやスマートフォンなどからインターネットを利用しての相談も可能です。詳しくは、「法務省人権相談」で検索してください。



インターネット
人権相談窓口

☎相談専用ダイヤル 平日 8:30～17:15

みんなの人権110番	0570 - 003 - 110 ※おかけになった場所の最寄の法務局へつながります。
子どもの人権110番	0120 - 007 - 110（無料）
女性の人権ホットライン	0570 - 070 - 810
外国語人権相談ダイヤル	0570 - 090 - 911



お問い合わせ先：松江地方法務局西郷支局（電話：08512 - 2 - 0240）
西ノ島町役場 町民課（電話：08514 - 6 - 0103）

毎年12月は 地球温暖化防止月間です

地球温暖化防止月間とは、国民・事業者・行政が一体となって温暖化防止に関する普及啓発に取り組むと定められたものです。

特に12月は温暖化を引き起こすCO₂の排出量が増加する傾向があり、この時期に温暖化防止活動に取り組むことは大きな効果が期待されます。

一人ひとりが取り組むことが重要ですので、ご協力をお願いいたします。

食品ロスをなくそう！ 生ごみ3きり運動

生ごみの約80%は水分です。生ごみを焼却する際に水分が多いと、時間やコストがかかるだけでなく、二酸化炭素が多く発生しています。そのため、生ごみを削減するため「水きり」「食べきり」「使いきり」の「3きり運動」に取り組み、生ごみそのものを減らしましょう。



水きり

生ごみを捨てる前に、しっかり水きりをしましょう。茶殻やコーヒーかす、果物の皮などは一晩おいて乾燥させてから出すのも効果的です。



食べきり

食べられる量を把握し、作りすぎ・注文しすぎをせず残さず食べましょう。どうしても残ったものは別の料理に活用しましょう。



使いきり

賞味・消費期限を把握し、買い物に行く前は冷蔵庫にあるものを確認しましょう。食材の購入後は品質をチェックし、正しく保存しましょう。

寒い冬をエコに過ごそう！ ウォームビズ

過度に暖房に頼らず、暖房時の室温を20℃（目安）で快適に過ごすライフスタイルを推奨しています。暖房に必要なエネルギー消費量を削減することによって、CO₂の発生を削減し地球温暖化を防止することが目的です。



衣

外気に触れやすい3つの首（首・手首・足首）を、マフラーや手袋、レッグウォーマーなどであたためましょう。ひざ掛けやストールの活用も効果的です。



食

冬が旬の食材、根菜類、特にしょうがなどは体を内側から温める効果があります。おすすめは鍋料理で、体も室内も暖くなり一石二鳥です。



住

室内の熱の50%は窓から流出していきます。あたためた空気を外に出さないよう、窓に断熱シートを張る、カーテンは床につく長さにして隙間をなくしましょう。